

平成25年12月定例記者会見要旨(平成25年12月3日開催)

## 市長発表

### 1. 坂出市“ゆるキャラ”デザイン市民総選挙

全国から1,440点のご応募をいただき、ゆるキャラ制作・広報推進委員会で2度の選考を行った結果、最終候補の6点に絞った。明日から市民総選挙を行い、坂出の新しい顔となるゆるキャラを決定する。

応募状況は、市内が31%、県内(坂出市以外)が22%、県外が47%で、そのうち三金時をイメージしたものが一番多く、全体の3割を占めた。そのほかには、塩や瀬戸大橋、古のロマンをイメージしたものと続いた。

投票箱は市役所本庁舎のほか市内各施設に設置し、投票用紙は広報誌と一緒に全戸配布を行う。これに、市内全学校の生徒児童・来年の新成人・開票イベント来場者による投票、およびネット投票の投票数を合計し、坂出市のゆるキャラを決定する。

ただし、ネット投票については、ネットによる投票数のみで市民総選挙の結果が決まってしまうことのないよう、一般投票総数の半分をネット投票数の上限とし、各候補の得票率で按分して加算することとしている。

### 2. 坂出市まいまいこ(徘徊)高齢者おかえり支援試行事業

#### ～坂出市民あい<sup>3</sup>(愛・目・逢)ネット～

昨年度(平成24年度)に坂出市で介護認定を受けたかた(4,170人)のうち、58%が認知症患者であり、今年1月～11月には、坂出警察署へ18件の認知症高齢者の行方不明届が出された。

これらの急増する認知症高齢者の問題に対し、自治体レベルでの地域支援体制を作るため、上記事業を実施する。これは、徘徊をする認知症等高齢者の搜索の手助けを市民そうぐるみで行うもので、来年2月から3月末まで実験的に取り組む。

事業の担い手は、予め市で登録した「おかえり支援サポーター」と呼ばれる個人、および「おかえり支援事業者」とよばれる各団体。認知症高齢者の家族等により警察へ行方不明届が出された場合、その情報を受けた市は、当該高齢者に関する情報(外見の特徴、服装等)を電子メールでおかえり支援サポーター等に配信する。ネットワーク化された地域での見守りにより、多くの目撃情報を集め、早期発見につながるのが目的。

今後、おかえり支援サポーターや事業所の登録を、広報誌やチラシで呼び掛け、協力要請を行っていきたい。